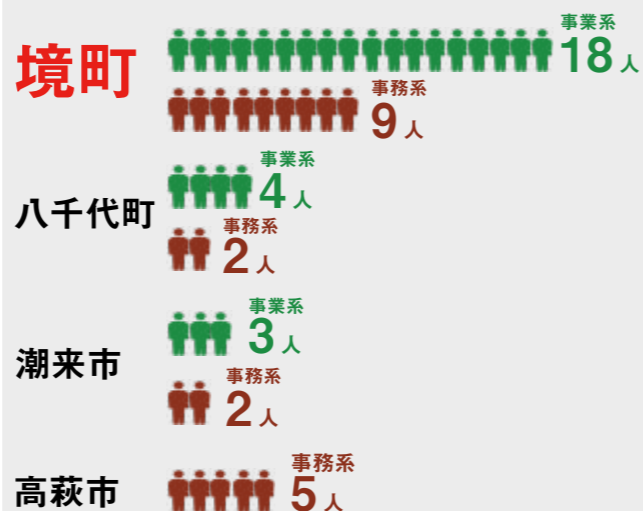


社会福祉協議会改善のステップ

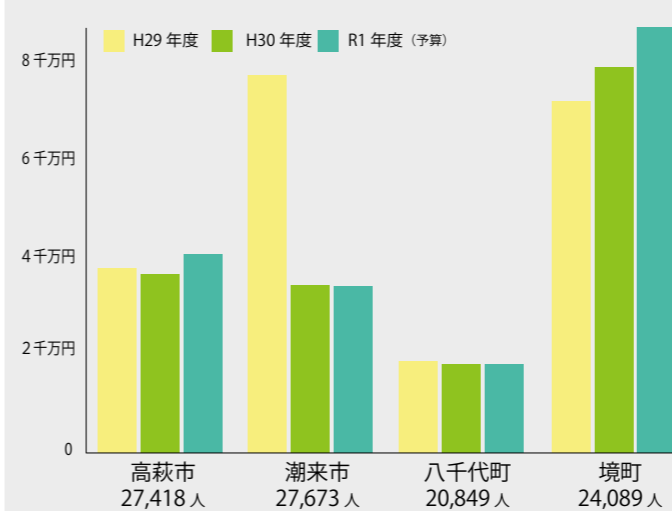
- 令和元年 12月4日
事業者選定委員会
介護保健事業を「株式会社日本ヒューマンサポート」に運営委託が決定
就労継続支援 B型事業を「合同会社境総合サービス」に運営委託が決定
- 令和元年 12月16日
訪問介護事業の廃止と事業譲渡について、利用者家族向けに全体説明会を開催
- 令和元年 12月23日
社会協議会理事会・評議会開催
県に運営法人決定の報告
- 令和元年 12月24日～
施設利用者家族を訪問して、令和2年度からの利用について説明実施
- 令和2年 3月19日
介護事業所「株式会社日本ヒューマンサポート」の現地調査実施
- 令和2年 4月1日
介護保健事業を「株式会社日本ヒューマンサポート」に譲渡、事業開始
障害福祉事業を「合同会社境総合サービス」に譲渡、事業開始
社会福祉協議会人事改変



境町と県内で人口規模が近い自治体の社会福祉協議会職員数



境町と県内で人口規模が近い自治体の社会福祉協議会補助金+委託金額 (決算額)

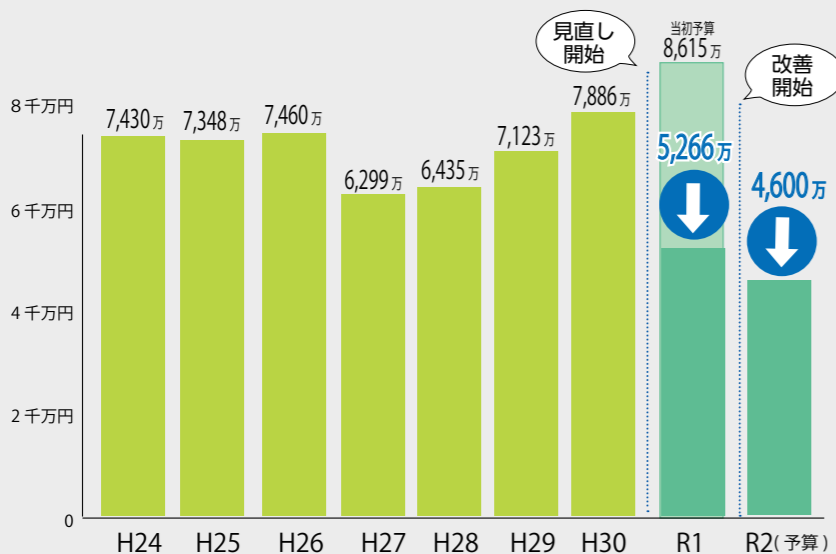


課題

9割が町の持ち出し補助金が支える外郭団体
境町社会福祉協議会

民間の力活用で町の負担軽減
境町改善中

境町の社会福祉協議会補助金+委託料推移 (決算額)



境町社協も、国や県の補助金を上手に活用し、時代のニーズに即したサービスを実施する、自立した運営に向けてスタートを切った所です。
町も、引き続き、財政改善に取り組みつつ、よりよいサービスを継続して実施できる体制や仕組みづくりのため努力と工夫を重ねて参ります。

近年、民間の業者が多数介護福祉事業に進出してきたことで、社協が介護福祉の場面で果たす役割も変化してきています。そこで境町は介護障害福祉事業を見直し、令和2年度より、施設を有償で貸し出すことで、新たな民間事業者による介護福祉サービスを創出しました。
介護など、なくてはならない福祉事業において、真に必要なサービスを継続して行うためには、コストを削減し、国や県からの補助金、民間事業者の活力を上手に活用して、町の財政に負担をかけない工夫が必要です。

改善

運営体制の改革と一部サービスの民営化で町負担の補助金を削減

これまで広報誌でお伝えしてきた通り、境町は、財政状況の改善に取り組み、5年連続で借金を削減、貯金を増やすことに成功しました。
町の負担を減らしながら収入を増やす「境町モデル」の運営方法で、新しい施設を設置するなど、意欲的に町の活性化を推進しています。
さらに町の財政状況をよりよいものとするために新しく始めた境町の改善の取り組みをご紹介します。